

大学番号 201

注1

設置年度 平成 30年度

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

認可

京都橘大学 文学部 歴史学科

注2

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人京都橘学園

令和3年5月1日現在

作成担当者

企画部

企画課長

宮原和志

電話番号

075-574-4441

(夜間)

075-574-4111

e-mail

plan@tachibana-u.ac.jp

- (注) 1 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。
- 2 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に()書きにて旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学(旧名称：◇◇大学(平成◇◇年度より名称変更))

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
①文学部歴史学科	
2. 既設大学等の状況	3
3. 附帯事項等に対する履行状況等	5

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人京都橘学園

(2) 大学名

京都橘大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒607-8175

京都府京都市山科区大宅山田町34番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ウメモト ユタカ) 梅本 裕 (平成19年9月10日)		
学長	(ホソカワ リョウイチ) 細川 涼一 (平成25年4月1日)	(ヒビノ エイコ) 日比野 英子 (平成31年4月1日)	前学長任期満了により選任。平成31年4月1日就任。(元)
学部長	(マツウラ キョウコ) 松浦 京子 (平成29年4月1日)	(アリサカ ミチコ) 有坂 道子 (令和3年4月1日)	前学部長任期満了により選任。令和3年4月1日就任。(3)
学科長等	(マスブチ トオル) 増淵 徹 (平成29年4月1日)	(ワタナベ カズユキ) 渡邊 和行 (令和2年4月1日) (オシタ シゲトシ) 尾下 成敏 (令和3年4月1日)	前学科主任任期満了により選任。令和2年4月1日就任。 (2) 前学科主任任期満了により選任。令和3年4月1日就任。(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画								定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員					
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後				
文学部 歴史学科 学士(文学)	4	90	100	0	0	360	400	平成30	新規入学者を 募集中		
区 分	対象年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []			0.93 倍	- 倍
志願者数	1,938 () [2]	- () [-]	2,058 () [-]	- () [-]	1,881 () [1]	- () [-]	1,445 () [3]	- () [-]			
受験者数	1,874 () [2]	- () [-]	1,997 () [-]	- () [-]	1,800 () [1]	- () [-]	1,384 () [3]	- () [-]			
合格者数	389 () [0]	- () [-]	466 () [-]	- () [-]	517 () [1]	- () [-]	572 () [1]	- () [-]			
B 入学者数	94 () [0]	- () [-]	91 () [-]	- () [-]	95 () [1]	- () [-]	94 () [1]	- () [-]			
入学定員超過率 B/A	0.94		0.91		0.95		0.94				

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 - ・ 様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科の場合ですが、変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - ・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	京都橘大学				学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考			
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	
					H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
	年	人	年次人	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度	
文学部	4	240	—	960	0.94	0.99	1.00	1.00	0.98	—	昭和42	
日本語日本文学科	4	85	—	340	1.01	1.02	1.05	1.03	1.02	平成30	昭和42	定員変更(15)
歴史学科	4	100	—	400	0.94	0.91	0.95	0.94	0.93	平成30	昭和42	定員変更(10)
歴史遺産学科	4	55	—	220	0.83	1.10	1.00	1.09	1.00	平成30	平成9	定員変更(5)
国際英語学部	4	120	—	390	1.12	1.02	0.95	1.04	1.03	—	平成29	
国際英語学科	4	120	—	390	1.12	1.02	0.95	1.04	1.03	令和3	平成29	定員変更(30)
発達教育学部	4	140	—	560	1.06	1.04	1.00	1.02	1.03	—	平成29	
児童教育学科	4	140	—	560	1.06	1.04	1.00	1.02	1.03	—	平成29	
人間発達学部	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成22	
児童教育学科	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成22	平成29年度より学生募集停止
英語コミュニケーション学科	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成22	平成29年度より学生募集停止
経済学部	4	240	—	240	—	—	—	0.95	0.95	—	令和3	
経済学科	4	240	—	240	—	—	—	0.95	0.95	—	令和3	
経営学部	4	260	—	260	—	—	—	0.93	0.93	—	令和3	
経営学科	4	260	—	260	—	—	—	0.93	0.93	—	令和3	
工学部	4	210	—	210	—	—	—	1.00	1.00	—	令和3	
情報工学科	4	130	—	130	—	—	—	0.98	0.98	—	令和3	
建築デザイン学科	4	80	—	80	—	—	—	1.03	1.03	—	令和3	
現代ビジネス学部	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成13	
経営学科	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成27	令和3年度より学生募集停止
都市環境デザイン学科	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成20	令和3年度より学生募集停止
看護学部	4	95	—	380	1.17	0.98	1.06	1.07	1.07	—	平成17	
看護学科	4	95	—	380	1.17	0.98	1.06	1.07	1.07	—	平成17	
健康科学部	4	326	—	1,304	0.96	1.02	1.00	1.06	1.01	—	平成24	
心理学科	4	90	—	360	0.92	1.01	0.92	1.16	1.00	平成30	平成24	定員変更(10)
理学療法学科	4	66	—	264	0.93	0.92	1.04	1.00	0.97	平成30	平成24	定員変更(6)
作業療法学科	4	40	—	160	1.12	1.02	1.15	0.97	1.06	—	平成30	

救急救命学科	4	50	—	200	0.96	1.24	0.98	1.04	1.05	—	平成28	
臨床検査学科	4	80	—	320	0.93	0.98	1.00	1.05	0.99	—	平成30	
大学全体	4	1,631	—	4,304	—	—	—	—	—	—	—	
心理学科 (通信教育課程)	4	180	3年次 180	1,080	0.52	0.84	0.84	0.93	0.78	—	平成24	
大学の名称	京都橘大学大学院						学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	
					H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
文学研究科	年	人	年次 人	人					倍			
歴史文化専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	—	—	0.16	0.83	0.49	—	平成29	
歴史文化専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	—	0.50	0.00	1.00	0.50	—	平成29	
現代ビジネス研究科												
マネジメント専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	—	—	0.50	0.16	0.33	—	平成29	
マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	—	1.00	0.50	0.50	0.66	—	平成31	
文化政策学研究科												
文化政策学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成15	平成29年度より学生募集停止
文化政策学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成15	平成31年度より学生募集停止
看護学研究科												
看護学専攻 (博士前期課程)	2	8	—	16	—	—	0.75	1.00	0.87	—	平成20	
看護学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	—	0.00	0.00	0.33	0.11	—	平成26	
健康科学研究科												
健康科学専攻 (博士前期課程)	2	12	—	12	—	—	—	0.83	0.83	—	令和3	
健康科学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	3	—	—	—	2.66	2.66	—	令和3	
健康科学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成28	令和3年度学生募集停止
大学院全体	2 3	42	—	76	—	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
<p>認可時 (平成29年度)</p>	<p>健康科学部心理学科(通信教育課程)の定員未充足の是正に努めること。</p> <p>留意事項</p>	<p>健康科学部心理学科の通信教育課程は、平成24年度に通学課程と併せ行うかたちで設置した。1年次の入学定員180人、3年次編入学定員180人で、収容定員は1080人である。</p> <p>過去4年間の入学者数と入学定員充足率は、別添の資料1のとおりである。平成30年度は95人が入学し、入学定員充足率は前年度より18.9ポイントアップし、52.8%であった。入学者数は、年々増加の傾向をたどっている。</p> <p>また、開設2年目からは欠員補充のための2年次編入学試験を実施し、平成30年度は2人が入学している。また、資料2のとおり、3年次編入学は平成30年度には160人が入学し、定員充足率は88.9%となっている。収容定員に対する充足率は改善の方向に向かっている。</p> <p>本年5月1日現在の在籍者数(資料3)は760人で、収容定員に対する充足率は70.4%となっている(それまでの退学者は除外)。</p> <p>学生募集にあたって本学では、教育内容を中心とした広報活動の充実を図り、定員充足に向けた取り組みを強化している。広報の具体的な施策としては、通学課程と同様に、広く周知を図る手段として、大学案内パンフレット、新聞や雑誌等への広告、ホームページ展開やWebサイト広告などのメディアを使った広報を展開している。ホームページにおいては、教育内容の理解を促進するためのコンテンツや、履修および学習支援体制についての詳細な説明内容の強化、スマートフォンへの対応などの充実を図っている。</p>	<p>履行済</p>

			<p>一方、通信教育課程であっても、受験希望者に直接接して、対面で情報提供を行うことが重要であると考えている。そのため、平成25年度に公益財団法人私立大学通信教育協会に正式加盟し、参加者の多い協会主催の合同説明会に全国規模で参加している。また、本学独自の説明会においては、本学キャンパスを会場とする開催だけでなく、入学志願者の増加をめざし、より交通の便の良い学外での説明会を実施している。平成29年度は、京都駅前会場で4回、大阪駅前会場で4回を含め、合計20回実施し、年々実施回数を増やしている。</p> <p>さらに、心理学科という学問分野の特性から、看護職者や保育士・幼稚園教諭、福祉施設職員などの入学が多いので、本学の看護学部や発達教育学部の教員と連携を図りながら施設訪問などを行い、周知に努めている。加えて、近隣の通信制や定時制の高校を訪問している。</p> <p>以上のとおり、本学では定員未充足の是正に向けて、さまざまな施策を展開しており、着実に成果が表れてきている。今後とも、定員充足に向けた活動を積極的に展開し、定員充足に努めていく。</p>	
設置計画履行状況調査時 (平成30年度)	該当なし			
設置計画履行状況調査時 (令和元年度)	該当なし			
設置計画履行状況調査時 (令和2年度)	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。